

野球を通じ 海外で貴重な経験を積む

野球チーム県代表としてアメリカに派遣

久保 夏葵 さん(右)

クボ・ナツキ 西根中3年 北村

麥田 慧那 君

ムギタ・セナ 松尾中3年 向村



2人は、県内の別々のリトルシニア野球チームに所属。独立行政法人国際交流基金の“KAKEHASHI”プロジェクトの一環で、7月23日から8月1日まで、県代表「team岩手」として渡米。ホームステイや野球を通じ、現地の生徒らと交流を深めた。

「ヤンキーススタジアムで、イチロー選手が今季初ホームランを打ったところが一番印象深かった」と、口をそろえるのは、今夏、野球の県代表として、アメリカに派遣された久保夏葵さんと麥田慧那君。

2人は、KAKEHASHIプロジェクトと題した青少年交流事業で、ニューヨークやサンディエゴなどにホームステイ。期間中は、交流試合(2戦2勝)を行ったほか、地元の人らと触れ合いました。「ジェスチャーなど身振り手振りで意思を伝えた。歓迎パーティーで歌を披露してくれたことが嬉しかった」という久保さん。「派遣期間中、相手が話していることを聞き取るのに、少しずつ慣れていった。ホームステイが楽しかった」と、



ニューヨークでの交流試合で打席に立つ久保さん

麥田君。2人とも、これまでに以上に英語力を身に付ける大切さを感じました。

女子野球部のある高校への進学を目指す久保さんは「日本では絶対にできない経験をした。この経験をこれからの生活や野球に生かしたい」と、真剣なまなざし。高校でも野球を続けるという麥田君は「アメリカで学んだ文化などの良い点を日本でも取り入れていきたい」と、きつぱり。共に、この夏の貴重な体験を、今後役に立てることを誓いました。

今月の表紙

救命救急 私も体験

県総合防災訓練が8月29、30の両日、本市、滝沢、雫石の3市町で行われました。訓練は、岩手山の噴火と大雨で土石流が発生したことを想定。29日は関係機関が対応協議を訓練し、30日は主に田頭と松尾地区の皆さんが参加し、避難訓練などが行われました。主会場の松尾コミュニティセンターでは、救命講習も行われ、参加者は、真剣な表情で訓練に取り組んでいました。



避難者名簿の作成訓練(松尾コミセン)

編集後記

今号11ページで紹介していますが、希望郷いわて国体の市の大会スローガンが決まりました。国体の冬季大会まで約1年4カ月、本大会まで約2年となります。市内各地では、市民の皆さんのご協力を得て、花いっぱい運動やグリーンアップ運動などが展開され、着々と準備を進めていただいています。市のスローガンの決定を契機に、さらに活動を盛り上げていきましょう。(佐々木)